



令和6年度 ユタ安全対策連絡協議会

治安情勢と安全対策

2024年11月16日
在デンバー日本国総領事館

目次

01 ユタ州の治安情勢

02 被害に遭わないためのポイント

03 最近の犯罪事例

04 まとめ

01

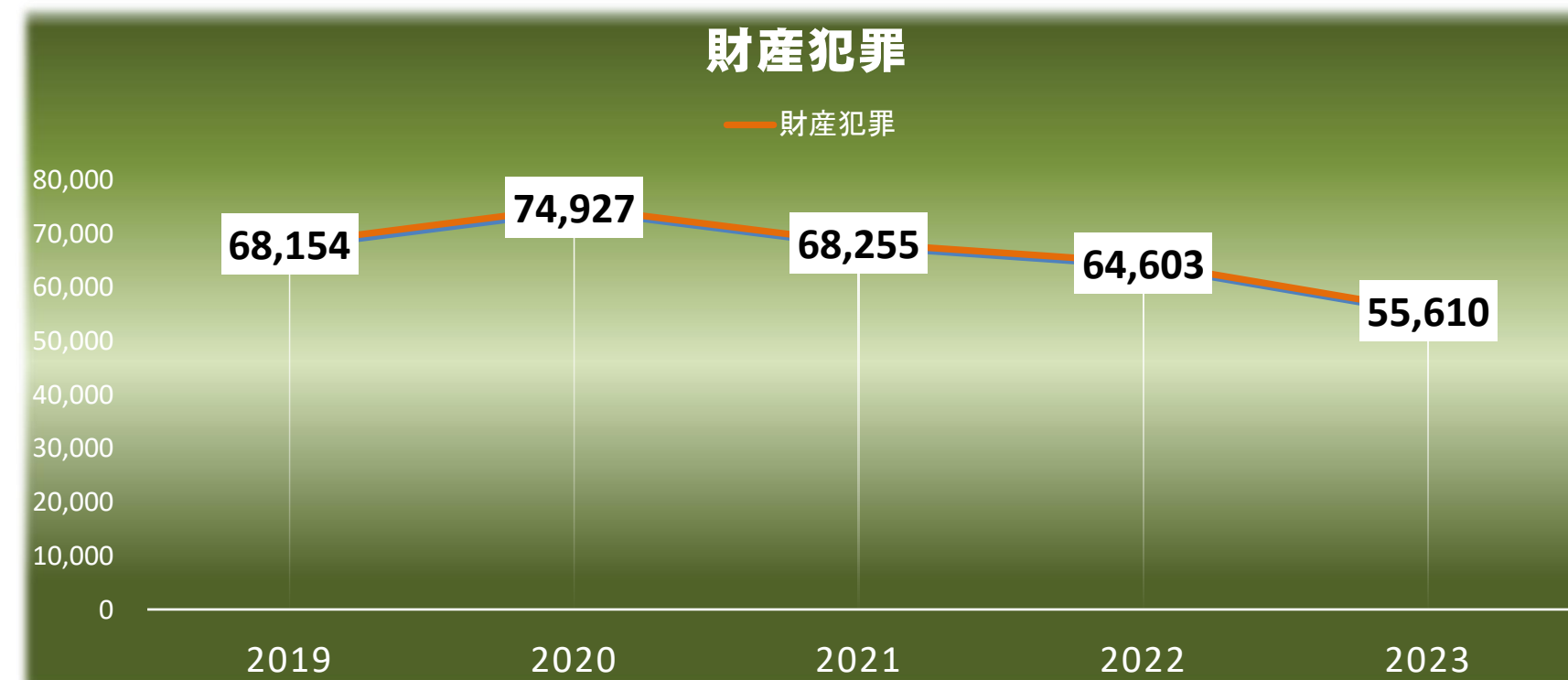
ユタ州の治安情勢

傾向

ユタ州の犯罪件数はコロナ禍前後で増加しましたが、コロナ禍の混乱が落ち着いて以降は暴力犯罪（殺人、強姦性交、加重暴行、強盗）及び財産犯罪（窃盗、侵入盗、自動車盗、放火）ともに減少傾向にあります。

暴力犯罪の合計件数は2022年の9,765件から2023年の9,267件で約5.1%減少しました。

財産犯罪の合計件数は2022年の64,603件から2023年55,610件と約18.5%と顕著な減少となりました。



01 全米の犯罪件数（2023年）

暴力犯罪（殺人、強制性交、加重暴行、強盗等）

殺 人	20,703 件	
強制性交	198,687 件	
加重暴行	845,782 件	
強 盗	214,935 件	計 1,280,107 件

財産犯罪（窃盗、侵入盗、自動車盗、放火等）

窃 盗	4,254,880 件	
侵入盗	796,483 件	
自動車盗	1,031,839 件	
放 火	36,293 件	計 6,119,395 件

合計 7,399,602 件

02 ユタ州の犯罪件数（2023年）

暴力犯罪（殺人、強制性交、加重暴行、強盗等）

殺 人	79 件	
強制性交	3,284 件	
加重暴行	5,007 件	
強 盗	897 件	計 9,267 件

財産犯罪（窃盗、侵入盗、自動車盗、放火等）

窃 盗	44,225 件	
侵入盗	6,107 件	
自動車盗	5,004 件	
放 火	274 件	計 55,610 件

合計 64,877 件

10万人あたりの犯罪率

犯罪種類	ユタ州	全米平均
殺人	2.3	6.0
強制性交	96.0	57.8
強盗	26.2	62.5
加重暴行	146.5	246.2
窃盗	1,293.9	1,238.7
自動車盗	146.4	300.4
放火	8.0	10.5
侵入盗	178.6	231.8
全犯罪	1,898.2	2,154.3

犯罪率

治安情勢の指標となる10万人あたりの犯罪発生件数では、ユタ州全体では強制性交と窃盗を除き、全米の平均値より下回っていることから、治安情勢は安定していると言えます。しかしながら、州都であるソルトレイクシティ市単体ではすべての犯罪で全米平均値を上回っている状況となります。

また、ここ数年ではユタ州内においても銃撃事件が複数件発生しており、引き続き、犯罪に巻き込まれないための日頃からの安全対策が重要であると言えます。

今後、ThanksGiving Dayや12月のクリスマス等のホリデーシーズンには人出が多くなります。銃撃事件は特に人が多く集まる場所やイベントで発生する傾向にありますのでお出掛けの際は周囲の状況に十分に注意してください。

安全対策のための三原則



目立たない

必要以上に華美な服装や装飾品を身に着けると周囲から目立ち、犯罪者に目を付けられやすくなります。服装や持ち物は目的、場所や時間等に合わせて選びましょう。



行動を予測されない

通勤・通学等、日々の行動がパターン化すると犯罪者のターゲットになる恐れがあります。時間や経路は時々変えて、不規則な行動をとるよう心掛けましょう。



用心を怠らない

当地での生活に慣れてくると、油断しがちになり、思わぬ事故や犯罪に巻き込まれることがあります。日頃から治安や交通に関する最新情報を収集し、周囲への警戒意識を持った行動を心掛けましょう。

02

被害に遭わないためのポイント

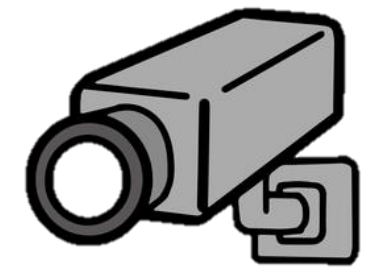
窃 盗

窃盗（不法侵入を伴わない盗難）は通常、機会犯罪と言われる無計画の犯罪が大半で、盗難される物品には自転車、自動車等の部品、衣類、発電機・工具などがあり、これらの共通点は屋外や施錠されていない（解放された）ガレージなどに放置されていることが言えます。そのため防犯対策としては、これらの物品を使用していないときには施錠し、ガレージを閉めるとともに、監視カメラなどの防犯機器設置も有効です。

日常生活においてはレストランやカフェ等で油断して鞆やスマートフォン等を無人のまま置くことは止めましょう。

侵入 盗

侵入盗のうち住居等への侵入は6割程度でそのほとんどは、住民が仕事や学校等で自宅を留守にしている間に発生しています。犯人から狙われないよう、外出時の施錠を徹底するとともに、長期間の外出時は郵便、宅配、新聞等はバケーションホールドを利用しましょう。また外から家の中が見えやすい場所に高価な装飾品を飾らない等の日頃からの注意も必要です。



自動車盗

車両から離れる場合は貴重品等は車内に置かない、または外から見えないようし、必ずエンジンを停止し、ドアロックを掛けましょう。

また、駐車する場合は周囲から見通しの良い場所を選び、駐車場に防犯カメラが設置されているか等も確認しましょう。カーアラームやハンドルロック等の防犯機器を活用しましょう。

銃撃等への心構えと行動



- ◆即座に伏せる！
- ◆頭部を防護する！
- ◆努めて冷静に！



- ◆犯人または銃声と逆方向に遠ざかる！
- ◆状況により低い姿勢で走って逃げる！



- ◆頑丈な物陰に隠れる！
- ◆息を殺す！
- ◆携帯の音は消す！

★ 銃弾から身を守る

銃撃犯は目立つ者、動いている者に反応して発砲します。見えづらいように姿勢を低くすることが重要です。

また、銃乱射の場合は相手が見えなくても発砲しますが、水平乱射が多いことから、低い姿勢（伏せる等）をとることが身を守るのに有効です。

【特殊詐欺】

米国内の他公館に実際
にあった通報



犯行の手順①

銀行やカード会社の職員を名乗る者から、電話で「あなたのクレジットカードが犯罪に使用されている。このままでは口座は凍結され、最悪の場合はあなたは刑務所に行くことになる」などと脅され、潔白を晴らすためのポリスレポートを取得するために警察に電話を転送すると告げられる。



犯行の手順②

転送先の警察官を名乗る者から、実在する警察署のホームページを検索するよう指示され、電話番号を確認させられた後、「一度電話を切るが、同じ番号から電話を掛ける」と説明を受け、実在する警察署の電話番号を偽装表示した電話から着信を受けることで信用させられてしてしまう。



犯行の手順③

レポート作成のためとビデオ通話に誘導され、ビデオ内で偽造の警察バッジやIDを見せられることで、さらに信用させられた後、個人情報(住所、ID画像、パスポート画像)等を求められる。

その後、新たな事実が判明したため逮捕される等とほのめかされたり、恫喝されるなどして心理的動揺や正常な判断力を奪われ、逮捕を遅らせるための保釈金として国際送金サービスを介した送金を要求される。



犯行の手順④

あなたは容疑者なので監視等が必要と理由を付けられ、送金までの間ビデオ通話の継続などを指示(他人に相談できないよう監視)される。



また「捜査は極秘のため、通話を切ったり、他者に相談した場合は即逮捕となる。」等と脅し、他人に相談できない状況を作ると同時に頼れるのは警察(偽)しかいないと洗脳され、判断力が鈍った状況で金銭を騙し取られる。

被害に遭わないために

 警察を含めた捜査機関は下記のようなことは **絶対**に言いません。

- 口座番号を尋ねること
- スカイプ等のビデオ通話をする事
- 電話で「あなたの口座は犯罪者（テロリスト）によって使用された」等と言うこと

相手から「口座が犯罪に利用された」「口座がテロリストに利用された」「必要なお金を支払わなければ、口座は凍結される」などと言われた場合には **「詐欺」** であると **確信** し、 **通話を切る** ようにしてください。

 電話を受け、少しでも上記のような発言があったり、不審に感じた場合には、 **ご家族やご友人、警察等に相談**するとともに当館にもご連絡、ご相談ください。

 治安当局によれば、詐欺グループはターゲットを絞らずランダムに電話を掛けているのが大半であるとし、中にはSNSを利用して個人情報を調べた上で電話を掛けているケースも報告されているとのこと。また、被害者は英語があまり得意でない（言い返せない）人が狙われる傾向があるとしています。

今回は具体的な犯罪事例とその対策についてご紹介いたしました。

本事例以外にも、当館にて相談を受けた事例として、
ネットオークションに関連し、州税を暗号通貨で払ってほしいと言われた事例などもあります。

詐欺グループは役割分担し訓練を行っていると思われ、犯罪の手法は益々巧妙かつ複雑化し、
一見して本当かと信じてしまいかねません。

それらの手口に騙されないよう、日頃からニュースやインターネット等で情報収集に努めていただき、
キーワードとなる犯人の言動を見極めることがポイントとなります。

また、犯罪者は心理的な動揺を誘うよう試みてきますので、電話等を続けることは非常に危険です。
一度電話を切り、すぐに身近な人や警察に相談することが被害の防止となります。

【参考：在ニューヨーク総領事館HP】

https://www.ny.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00921.html

どうか皆様が安全に過ごせますよう、ご参考にいただければ幸いです。